

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 210 号	氏名	Sher Bahadur Pun
学位審査委員	主 査 森 田 公 一 副 査 平 山 謙 二 副 査 松 山 俊 文		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、開発途上国の致死的下痢症の原因として重要なロタウイルスのネパール国における分子疫学調査を実施し生ワクチン導入の妥当性を検討することを目指すものであり目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 採取したサンプルから直接ウイルス遺伝子RNAを分離し、従来から確率されている RT-PCR 法に加えて、新たに出現したG12型を検出できる精度の高い新たな RT-PCR 検出系を作成してゲノムタイピングをおこなう手法を用いており研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ネパールにおいて 2003-2004 年のロタウイルス流行季節と比較して 2004-2005 年の流行期にはG1型ヒトロタウイルスからG2型ヒトロタウイルスへのシフトが観察され、さらに新たに出現したG12型ウイルスは継続的な流行（ロタウイルス感染全体の 20%）をしていることを明らかにし、大規模な国、地域レベルでのワクチン導入に際して、新興株の出現と拡大を調査することが重要であることをしめした。本研究は新興株であるヒトロタウイルスG12型の検出系を確立したことに加え、今後の開発途上国におけるロタウイルスワクチン導入について重要な知見と供する成果といえる。</p> <p>以上のように本論文はロタウイルスの疫学と予防に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			